

水車を組み立てたよ



三野町芝生の「三村用水」に1月19日、水車が設置されました。これは地域のクリーンエネルギーの活用に向けた取り組みとして行われたものです。この日は水車の組立作業も行われ、三村用水について学んでいる芝生小学校4年生の子どもたちが、指導を受けながら水車の部品の組み立てを行いました。できあがった直径約2.5メートルの水車には発電機が取り付けられ、今後は農業用水を利用したマイクロ水力発電の実証調査が行われます。

タイガーマスクが三好市にも



全国でタイガーマスク(伊達直人)などを名乗る匿名の寄付が広がるなか、市内でも1月13日に「辻小学校・辻幼稚園・辻放課後児童クラブの皆様へ」というあて名書きの段ボールが辻小学校へ届きました。中身はモップ16個で、同封の手紙には「気持ちの良い毎日を過ごすためにお掃除してください」と書かれていました。近藤校長は「子ども達と共に温かい気持ちに触れることのできた出来事で、くださった方の優しさを共有しました」と語ってくれました。

今年1年の商売繁盛を願う



池田町のえびす神社で1月10日、恒例の「えびす祭り」が開かれ、今年1年の商売繁盛などを願う大勢の参拝客でにぎわいました。神社では神事が厳かに執り行われ、真剣な表情で商売繁盛や家内安全などを祈る参拝者の長い列ができていました。神社近くの販売所では、縁起物の飾りがついた福笹や熊手を買い求める人でにぎわい、また、買い物をした方を対象にした福引や温かいぜんざいの振る舞い、福餅投げなども行われました。

まちかど フォト ニュース



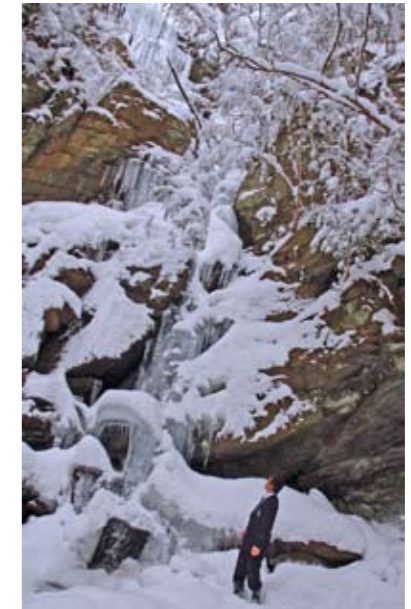
おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。

三好市役所 秘書広報課
☎0883-72-7646

厳冬にできた自然の彫刻

井川町井内東にあるご来迎の滝は、毎年寒さの厳しい日が続くと凍りますが、今年も1月中旬頃に寒い日が続いたので、見事なつららを見ることができました。ここの場所は陽があまり当たらず、暖かい日が続かなければ、この自然の彫刻をしばらく見ることができそうです。

写真に写っている人と大きさを比較していただければ、どれだけ大きくて、迫力があるのか判ってもらえると思います。



雪上での熱い戦い



第7回国際雪合戦四国大会が1月29日から2日間、いやしの温泉郷グラウンドで行われ、4県から27チームが参加しました。今年は積雪が多く、一面銀世界での大会となりました。試合は1チーム7人で、敵陣の旗を奪うか、より多く雪玉を当てたチームが勝ちとなります。一般の部はいやすき1、小学校高学年の部はライトニングヒットマンズ、小学校低学年の部はとちっ子ホワイトスターズが優勝し、すべての部で三好市のチームが制しました。

ミニかずら橋完成



阿波池田たばこ資料館に、約8mのミニかずら橋がお目見えしました。地元住民グループが観光客に楽しんでもらおうと企画し、長年、祖谷のかずら橋の架け替えに携わる、梅本定久さん(西祖谷山村)と橋口明義さん(山城町)の2人に依頼しました。そして、約200キロのカズラを使い、わずか2日間で立派なミニかずら橋を完成させました。人が渡ることはできませんが見応えは充分で、5月のゴールデンウィーク頃まで無料で展示する予定だそうです。

三枝さんの独演会



落語家の桂三枝さんの独演会が1月23日に池田総合体育館で行われ、約700人の観客が来場しました。公演の中で三枝さんは2作品を披露しました。1つ目の噺「妻の旅^{はなし}行」では今年40周年を迎える司会番組「新婚さんいらっしやい」収録での出来事を織り交ぜて話したり、2つ目の噺「涙をこらえてカラオケを」では、実際にマイクを片手に歌声を披露しました。会場には何度も笑いと拍手がおこり、観客は三枝さんの巧みな芸を堪能しました。

今年も地域の安全守ります



平成23年三好市消防団出初式が、1月9日、三好市池田総合体育館で行われ、57分団・866人の団員が参加しました。連合消防団長が「消防団員としての自覚を持ち、地域の安全に尽力してほしい」と訓辞し、各表彰授与や感謝状贈呈などが行われました。その後、池田町消防団第1分団が諏訪公園(池田町ウエノ)において、約110年の伝統を持つという「樽回し」を披露しました。樽が豪快に回りながら立ち上がると、見物客から盛んな歓声と拍手が送られました。

たばこ文化と歴史を学ぶ



三好市のたばこの歴史や文化を継承し発展させていくため市民とともに取り組んでいこうと、1月8日、市中央公民館で三好市たばこ講演会が開催され約50人の市民が参加しました。たばこと塩の博物館学芸部長の半田昌之さんを講師に迎え「日本のたばこ 歴史と文化」と題して講演があり、「たばこの長い歴史の中には人々の知恵と文化が残っている。これからも地域の中でたばこの歴史や文化を残して、次の世代へつなげていってほしい」と話していました。

懸命のたすきリレー展開



1月4日から6日まで新春恒例の徳島駅伝大会が開催されました。三好市チームは、これまで日々練習を重ね、本番では44区間268.2キロを奮闘し走りぬくことができ、昨年からの悲願であった「最下位を脱出」することができました。また、今回は三好市出身の2010年広州アジア大会金メダリスト(トライアスロン)である細田雄一さんも選手団に加わり見事な走りを見せ、中・高校生選手のいい刺激になりました。